

統計とっとり

平成17年3月
第92号
鳥取県企画部統計課
TEL0857-26-7103
FAX0857-23-5033

統計課ホームページアドレス<http://www.pref.tottori.jp/tokei1/stat.htm>

第56回鳥取県統計大会

平成16年11月26日（金）、米子市文化ホール イベントホールにおいて第56回鳥取県統計大会が、約80名の参加を得て開催されました。



統計から見える日本の現状と
問題についてお話しされる小野教授

記念講演

鳥取大学地域学部の小野達也教授により、「国勢調査で読み解く21世紀」と題しての記念講演を頂きました。

小野教授は、国勢調査の意義と、そこから見えてくる問題についてのお話をされ、統計の重要性を再確認することができました。



おめでとう

平成16年

秋の叙勲

各種統計調査員
藤原 正巳

私、この度図らずも平成16年秋の叙勲において、11月3日付で麻生総務大臣より瑞宝単光章の授与通知を受けましたが、一身上の都合により上京いたしかねる旨御報告申し上げていました。そのため、去る11月26日米子市文化ホールで行われた第56回鳥取県統計大会の席上で、平井副知事より勲記並びに勲章の伝達を受け勲章の重みを改めて強く感じました。これもひとえに調査の度毎に御協力くださった多くの方々や関係当問の御支援の賜でありまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

また、新聞報道の折には大変多くの皆様より御祝意を頂戴いたし、この機を借り御礼申し上げます。さらに、地元におきましても師走にも関わらず心温まるお祝いの会を開いて頂き、大変な御祝辞を頂き身に余る光栄に家族共々感謝いたしている次第でございます。



私が統計調査の任を受けましたのは半世紀前の昭和30年のことで記憶も定かならざる状況の中ですが、5年に一度の国勢調査を手がけたのが最初でありました。また、その頃町において統計協会の発足に向け設立総会が湯原温泉で開かれ、会が近づき私も調査員として登録いたしました。それ以来、国勢調査10回、他農林業センサス、事業所、商業、工業等各種統計を年2~3回、東奔西走の状況で行い、広い町内の端々まで廻ったこともございます。その結果延べ137回をこなしており、自分でも驚いております。

今後もこの度の栄誉を糧に少しでも御皆様への謝恩の意を持って努力いたして参る所存でございますので、一層の御温情と御支援をお願い申し上げ御礼の辞といたします。誠にありがとうございました。



鳥取県統計大会にて

ごぞいます

藍綬褒章

工業統計調査員
小原 幸子

この度は、はからずも藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る栄誉と身の引き締まる思いで一杯です。

これはひとえに調査に協力して下さった方々や、日ごろより心温かいご指導ご支援をくださった皆様のお陰と深く感謝しております。

受賞当日は、赤坂プリンスホテルにおいて褒記・褒章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し「豊明殿」にて天皇陛下に拝謁しお言葉を賜りました。夫と2人感激の極みでした。朝方降り出した雨も記念撮影の頃にはあがり、宮殿前での撮影も無事行うことができました。受賞に関わる諸日程を終え、ホテルに戻った時には前日からの緊張もほぐれ、全身から力が抜けていくような気がいたしました。

さて、私がこの仕事を始めて早いもので33年が過ぎようとしています。その間には、たくさんの人々との出会いがあり、さまざまな経験をさせていただきました。自分の未熟さゆえにご迷惑をかけたこともしばしばでしたが、失敗を繰り返すたびに家族や仕事の仲間に励まされ、なんとか今日まで続けることができました。

統計調査とは、答えていただいた調査内容が大切なことはいまでもありませんが、依頼をして書いていただいた調査票を受け取る窓口となる私達調査員の役割が大きな意味を持つものであると考えます。調査結果が利用されるためには、調査員の日々の地道な努力が必要なのです。調査に協力して下さる人達と私達調査員との信頼関係がなければ調査それ自体が成り立ちません。それを肝に銘じて、気持ちよく調査に協力していただくことができるよう自分を磨き、努力を続けてきた33年間でもありました。といえは聞こえは大変よいですが、妻として母として家庭と仕事が両立できていたかといえは疑問が残ります。



時間の融通が付きやすい仕事とはいえ、家事や子育てとの両立は簡単なものではありませんでした。まして、運転免許を持たない私にとっては調査依頼や回収をすることが辛く感じられる日もまたしばしばでした。家族の協力なしにはどんな仕事でも続けることは難しい中で、ここまで続けることができたのは、本当にありがたいかぎりです。

家族はもちろんのこと、統計調査に協力していただいた方や事業所でお世話になった方々、皆さんの支えがあってこそ今の自分があるのだとつくづく感じています。

最後になりましたが、県の統計課長をはじめ受賞を喜んでくださった県統計課の皆さん、ご多忙にも関わらず受章報告に時間をとってくださったうえにお祝いの言葉をくださった竹内市長さん、また、祝賀の席を設けてくださった調査員の皆さん、さらには祝福の電話や電報、心温まるメッセージやお花をくださった方々、本当にありがとうございました。

この度の受賞は、今までの自分の歩んできた道を振り返るよい機会でもありました。私にとってこの受賞がゴールではありません。通過点の一つと捉え、体力と気力の続く限りこの仕事に誇りをもってますます精進していきたく思います。

第55回全国統計大会in沖縄



あいさつをされる中村全統連会長



平野 嘉子さん受賞の様子

全国統計大会に参加して

(鳥取市職員 山田晃子)

鳥取市の登録統計調査員でもある平野嘉子さんへの大内賞受賞をステージ間近で見せていただきましたが、とても素晴らしかったです。

大会には全国各地から統計調査員も参加していて、交流の機会を持つことができました。他県の方の話聞く貴重な経験で大変良かったです。長年統計調査に尽力されている人も大勢いらっちゃって、多くの調査員によって統計は支えられているということを改めて実感しました。統計は人と人との信頼関係の上に成り立っているからこそ、私も人との繋がりを大切にしたいと思った大会でした。

平成16年度とっとり大地と海のフェスタ出展

11月13日(土)、14日(日)に開催された当フェスタに、統計思想普及の一環として統計課からも出展しました。

統計クイズの開催、パネル展示、国勢調査のティッシュ配りなどを行い、特に統計クイズは、幅広い年齢層の方に参加していただき、多くの方でにぎわいました。



ティッシュ配りをする森本調査員と職員



統計クイズでにぎわう様子

ティッシュ配りでは、鳥取県統計調査員会の森本嘉子さんと平野嘉子さんに手伝っていただき、国勢調査への協力を呼びかけました。

平成16年度 鳥取県統計グラフコンクール

親子で学ぶ統計教室開催



中部会場（中部総合事務所）にて

統計課では、小学生を対象として毎年統計教室を開催しており、今年度も6月下旬から7月上旬にかけて、県内3か所で開催しました。

各地区の小中学校の先生を講師にお呼びして、親子で初歩から統計グラフの作り方を学びました。

グラフコンクール審査会

9月17日（金）に、審査会が開催され、入賞作品24点、優秀校10校が決まりました。

10月には第52回統計グラフ全国コンクールの審査会が開催されました。鳥取県からは入賞作品から上位の12点を応募し、2作品が入選しました。



審査会の様子



鳥取県知事賞・全国コンクール佳作
鳥取市立米里小学校 2年 志和陽香



鳥取県統計協会長賞・全国コンクール佳作
琴浦町立赤碕小学校 3年 池田美萌

鳥取県知事賞授与



受賞者と副知事との記念撮影

11月24日（水）、各部門知事賞受賞者4名に、平井副知事から賞状と副賞が授与されました。

また、2月から3月中旬にかけて、県内4か所で展示会を開催しました。

皆さんも、来年度は是非グラフコンクールに応募してください！お待ちしております。

平成17年国勢調査について

2005

国勢調査

平成17年10月1日（午前零時）現在で、平成17年国勢調査を実施します。

この調査は、我が国の人口・世帯の実態を把握する国の最も基本的で重要な調査として、大正9年（1920）以来5年ごとに行われており、今回で18回目に当たります。

調査結果は、議員定数の決定や選挙区の決定、地方交付税交付金の算定、社会福祉政策や地域整備政策などの各種行政施策、将来人口の推計等に利用されています。

■調査の対象

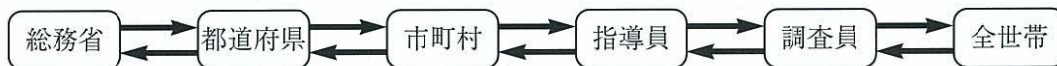
日本に住んでいるすべての人

■調査事項

氏名、性別、就業、雇用などの世帯員に関する12項目と世帯員数や住宅などの世帯に関する5項目について調査します。



■調査の流れ



■調査員の仕事

調査員は、調査票の配布や取り集めといった調査にとって、最も大切な仕事を担っています。この調査で行っていただく仕事のあらまは、次のとおりです。

①調査員事務打合せへの出席

調査の内容や調査員の仕事について説明を受け、調査について理解します。

②受持ち調査区及び単位区の確認

市町村から交付される調査区地図の写しなどを基本に、あらかじめ受持ちの調査区を巡回し、その調査区とその単位区の範囲を確認し、受持ち調査区内の住宅・建物の状況などを把握します。

③調査票の配布と収集

受持ち調査区内の各世帯を訪問し、調査票を配布し記入依頼を行い、後日取り集めます。

④調査票の提出

取り集めた調査票を検査・整理し、あらかじめ指定された期日までに指導員又は市町村に提出します。

その後、市町村では、記入内容を審査し、都道府県に提出します。

■結果の公表

総務省では、集計の完了したのから順次、結果表を閲覧に供する方法等により公表します。

また、全国・都道府県・市町村別の人口総数の速報値は平成17年12月末までに、全国・都道府県・市町村別の人口総数及び世帯数の確定値は平成18年10月末までに官報に公示します。

この人紹介



統計調査員（米子市）
中原 一夫さん



統計調査員（鳥取市）
高野 千秋さん

今年の10月1日に、第18回国勢調査が全国一斉に行われます。国勢調査は5年ごとに行われますので、大正9年から始まったこととなります。

私と国勢調査との出会いは、第9回の昭和35年。当時、お米は配給制度で生活物資の統制時代です。生活は貧しく、勝田山の洞穴にドア代わりの簾を吊り、その中に住まいしている人、また、公会堂裏の非常階段の踊り場にダンボールを積み重ね、部屋のごとくに寝起きする人、米子駅の待合室に寝泊まりする人もいました。10月1日午前0時を期して、これらの方々を訪問し、住所・氏名・職業等の聞き取り調査をし、夜中じゅう市内を廻りました。それ以来、毎回、調査員及び指導員として国勢調査に携わり、現在に至っています。よくぞここまで続けられたものだと我ながら感心しています。

国勢調査に初めて携わった頃、米子市は、伯仙町との合併、また、デパート・企業の増加等がありました。国勢調査ごとに人口が増えており、喜ばしく思っています。今年、淀江町との合併後、初めての国勢調査となります。米子市の人口が15万人以上となることを期待し、淀江町の豊かな文化の発展を願っています。

国勢調査に向かい、今から重要性をPRしていきたいと思っています。今年、酉年、コケコッコの「力行」でいきます。すなわち、「カ」感謝の気持ち、「キ」協力者のお陰、「ク」苦難を乗り越える、「ケ」健康に留意する、「コ」公共のため（統計）に努力するをモットーにしたいと思っています。

住民1人でも見落とししないよう、拒否のないよう、完璧を願っています。

「高野さん、国勢調査してもらえんか。」
「え！！」

こんな会話は昭和55年の国調の頃、今は亡き我が町内会長さんの言葉でした。これが私の調査に携わるきっかけです。子ども3人は小学生の頃、手探りで始めた仕事でした。

それからいくらか経たない昭和58年から4年半、個人企業経済調査をすることになりました。この調査は寒い最中に依頼に行き、6ヶ月間調査をお願いするのですが、終わる頃にはもう真夏です。ある食堂での調査では、「帳面ちゃあなんつけたとことがないし、税務署のいうとおり税金も払ってきたけえ調査はでけん〜。」と店主さん。「じゃあ一緒に帳面つけましょいな。」翌日からそろばん持参で毎日通いました。簡単なメモ付けから始まり、1ヶ月分集計し、初回分が完了。1店舗に6ヶ月間の調査でしたが、終了後も半年間通い、確定申告の書類まで仕上げました。納税額も減り、店主さんは大喜びでした。こんな嬉しい出会いもあったんですよ。あの食堂の御主人は元気にしてるかな〜。

また、こんなこともありました。平成8年事業所調査回収中、路地より飛び出してきた小学生の自転車と激突。両手指ねんざ、両足擦り傷と、ずいぶんひどい目に遭いましたが、調査票を回収しながら通院し調査をやり遂げました。9年経った今もその指はうずきます。

これまで各種調査に携わり、多くの人との出会いもあり、調査によっては顔パスも通用するほどで喜びを感じています。しかし、最近是非協力的な事業所や世帯があり、泣かされたことも多くあります。それでも、客体の協力あってこそ出来る調査です。ありがたい事です。いつもスマイル、スマイルをモットーに今日もペダルをこいでいます。それにしても自転車の前カゴの書類はいつも重いな〜。

平成17年度統計調査実施予定

【毎年実施調査】

- 小売物価統計調査（毎月）
- 家計調査（毎月）
- 労働力調査（毎月）
- 個人企業経済調査（四半期毎）
- 毎月勤労統計調査（毎月）
- 工業動態統計調査（毎月）
- 商業動態統計調査（毎月）
- 工業統計調査（12月31日）
- 特定サービス産業実態調査（11月1日）
- 学校基本調査（5月1日）
- 学校保健統計調査（4月～6月）
- 県人口移動調査（毎月）
- 県鉱工業生産動態統計調査（毎月）
- 県水産業経営調査（1月～2月）
- 県企業経営者見通し調査（2・5・8・11月）

【調査周期】

国勢調査（10月1日）



統計協会出版物案内

100の指標からみた鳥取県 好評発売中！

価格／700円 サイズ／A5判

軽自動車普及率全国1位、降水日数全国1位など鳥取県の新たな一面が発見できる冊子です。

【その他】

- ・県勢要覧 平成16年版 A4判 500円
- ・統計年鑑 平成14年刊（平成16年刊）
A4判 4,800円

【申込み・問い合わせ先】

鳥取県統計協会（県庁統計課内）
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
TEL：0857-26-7103
FAX：0857-23-5033

統計資料の案内

県をはじめ、国、他の都道府県、市町村等で作成・刊行している各種統計資料を取りそろえています。お気軽に御利用ください。

場 所 鳥取市尚徳町101
県立公文書館
電 話 0857-26-8163
E-mail kobunsho@pref.tottori.jp
開館時間 平日 9：00～17：00
休館日 土・日曜日、祝日、年末年始